

令和3年度	<b>創造調和</b>	令和3年4月15日
		半田市立半田中学校 第2号 学校だより

## 構える

季節が変わりました。  
景色が変わりました。  
学年が変わりました。  
学級の仲間が変わりました。  
担任の先生が変わりました。



4月はいろいろなものが変わるからこそ、まわりの変化とともに新しい挑戦をしてほしいです。新しい自分は、未来の自分の夢にもつながります。

さて、スポーツ選手が競技の直前で見せる緊張感ある姿は、見ている人を惹きつける魅力があると思いませんか。

例えば、バットを構える打者と、マウンドで構える投手の対決には、毎回、目が離せません。一つのボールをはさんでの両者の全神経を集中させた「構え」には、彼らのみなぎる気迫を感じます。相撲の仕切りにも、精神統一により闘志をわきたたせ、技を仕掛けていくための「構え」があります。この「構え」は、スポーツだけではなく、オーケストラの指揮者がタクトを構えると同時に、100人近い奏者が楽器を構え、音の出だしのタイミングを計っています。そして、音の出だしが一つに揃った一体感は、背中に電気が走る思いがします。この「構え」は、本動作へのアプローチとして重要な「形」であり、心を研ぎ澄ます「間」なのです。

学校生活では、朝登校したら、下駄箱の靴を揃えたり、自分の荷物をきちんと机やロッカーに入れたりする「構え」があります。そして、友達同士、元気な声で「おはよう」とあいさつを交わしたり、授業では、よい姿勢で「お願いします」とあいさつを交わしたりする「構え」もあります。また、本を読んだり、字を書いたり、歌を歌ったり、ものをつくったりするときの姿勢にも「構え」があります。

このように、構えるか構えないかで、物事への取組に対する思いのかけ方が随分違ってきます。学習への思いをかける、部活動への思いをかける、係活動や委員会活動への思いをかけるなど、心構えをもって、学校生活の様々な活動に取り組んでほしいと思います。

## 新型コロナウイルス感染症対策についてのお願い

感染症拡大の心配は、まだまだ続きます。「うつらない・うつさない」行動を一人一人が心がけ、新しい生活様式の中で、最大限の教育活動を行ってまいります。

つきましては、コロナ禍の状況を踏まえ、以下の活動につきまして、しばらく制限を設けたいと思いますので、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

### 検温、マスク、手洗い、換気、ソーシャルディスタンス、トイレの消毒等を徹底します。

- 全校集会は当面、行いません。学年集会までとします。
- 音楽科の歌唱活動等は、マスクをして人との間隔を十分確保しながら、人に向けて声を出さないように活動します。特に、リコーダー演奏は、唾拭きタオルを用意し、唾の処理とタオルの処理を確実にを行います。
- 体育科の活動では、人と人が組んだり、接触したりする活動はしないようにします。
- 家庭科の調理実習は当面、行いません。
- 給食は、前を向き、会食中はしゃべらないようにします。
- 歯磨きは、手洗い場の密と飛沫感染予防の観点から、当面、歯磨きはしないようにします。ただし、治療等のため歯磨きが必要な生徒は、担任に申し出て歯磨きをするようにします。

## 学習定着率のカギは「アクティブ・ラーニング」

今、学校では「主体的・対話的で深い学び」という新しい教育に向かっています。以前は、授業中は教員の話をしっかり聞いて、落ち着いた雰囲気がいとされていましたが、これからは、生徒が学習課題を自分事と捉え、主体的に解決しようとしたり、友達と対話しながら解決しようとしたりして、教室では生徒の活発に活動する姿や生徒同士で学び合う姿を目指していきます。

右の学習定着率を段階的に示した「ラーニングピラミッド」を見ると、講義のようにただ席に座って教員の話の聞くだけだと、よほど興味のある内容でない限り、授業内容のほとんどを忘れてしまいます。学習を定着させるには、話を聞きながら意欲的にノートをとることや丁寧な予習・復習などが有効です。

グループ討議や自ら体験する、他の人に教えるなど、頭をアクティブにすることが、学習定着率のカギになるようです。

